

島ハーブに魅せられて

① 八重山のハーブの魅力を広めたい

石垣島胡椒園 高西洋子^{たけし}さん



オシャレで格好いい高西洋子さん。NPO法人ジャパンハーブソサエティ八重山支部長をはじめ、八重山食文化推進協議会委員など多くの肩書をもつ。

旧 石垣空港近くのサトウキビ畑の中を進むと、「石垣島胡椒園」と「石垣島ハーブスクールの看板があった。200種余りの多様な植物が繁茂する1500坪の敷地内にロッジ風の建物があり、高西洋子さんは丈の長いレモングラスを箱詰めしているところだった。

祈りをこめて描いた植物画

与那国島で生まれ育ち、野草を採ってきては挿し芽をして増やす草遊びが大好きな少女だった。結婚して子どもを授かり、一家で石垣島に移住してきてからはラン栽培に夢中になった。

しかし、突然のひとり娘の死。悲しくて悲しくて夜になると涙が止まらない。面影を求めて北へ。北海道まで行ってラベンダー畑を見たとき、慰められた気がした。石垣島に帰ってきたら、

「自分は今こんなちっぽけな所で泣いていたんだねえ、と気づいたの」

その頃すすめられて描いた植物画が認められ、地元のタウン誌に八重山のハーブの絵と文を掲載するようになった。

「夫が、画家になるつもり？」と

人生いつでも
ハーブがあつた
そばにあつた